

平成30年度
第1回

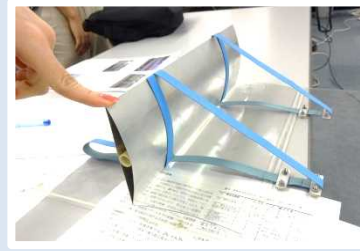
実いある学舎を開催しました!

本講演では、東日本大震災の被害の紹介の他、津波の起きるメカニズムや横浜における津波シミュレーション動画による被害イメージ、歴史的な津波の紹介があり、設計に用いる津波の決定課程については、横須賀の港湾空港技術研究所時代のエピソードも交えてご説明いただきました。
また、実際の海岸で実施した性能実験の結果や、これまで実施した実験結果を紹介するとともに、流起式防波堤の導入に向けた提案をしていただきました。

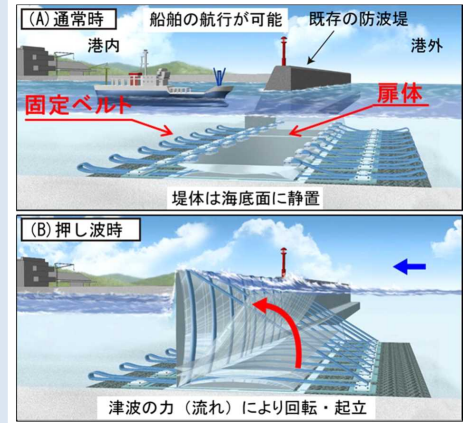
参加者からは「学会に採用された演題であり、実用化に向けた実験結果も交えた講演であり、有意義であった」といった感想が寄せられ、とても有意義な講演会となりました。



《日 時》平成30年8月30日(木) 14:00~16:00
《テーマ》流起式可動防波堤の河口部における津波減勢効果に関する検討
《講 師》京都大学防災研究所
流域災害研究センター 教授 平石哲也 氏



← 隆起式可動防波堤の模型によって、わかりやすく理解を深めることができました。



移転のお知らせ

広島港湾空港技術調査事務所は、平成30年9月25日に、広島市中区大手町・松村ビル5階から広島市南区宇品海岸・庁舎4階に移転しました。



【アクセス】
市内電車「海岸通」電停より徒歩8分

※駐車場はございませんので、
近隣の公園の駐車場をご利用ください。



国土交通省 中国地方整備局 広島港湾空港技術調査事務所
〒734-0011 広島市南区宇品海岸3-10-28 庁舎4F
【TEL】 082-250-1901 【FAX】 082-250-1905